

## 資料 2

### 第2期大刀洗町まち・ひと・しごと創生総合戦略(大刀洗よかまち創生プロジェクト)個別事業 検証資料

#### 1. 資料について

- 第2期総合戦略の(R2 年度～R5 年度)取組内容や KPI の達成状況、成果、課題を担当課において記載しています。
- より多角的な視点(これまでの経験や施策間の連携など)で施策を分析するため 6 月 19 日に係長級職員が参加し、検証タスクフォースを開催しました。タスクフォースでの意見をシート下部に記載しています。(一部事務局による加筆修正あり)

#### 2. 資料の記載事項

The image shows a document with five red boxes highlighting specific sections:

- ① A table with columns for 'KPI' and '達成状況' (Achievement Status).
- ② A table with columns for '個別事業' (Individual Business) and 'KPI'.
- ③ A text box containing evaluation text.
- ④ A text box containing future thoughts text.
- ⑤ A text box containing comments.

① 5つの基本目標ごとに設定した KPI (重要業績成果指標) とその達成状況

② 個別事業ごとに設定した KPI (重要業績成果指標) とその達成状況・コメント

③ 基本目標 KPI 達成 (①の欄) に対して本事業の KPI がどれだけ有効であったかの評価

④ 第 2 期プロジェクトの実施状況を踏まえた事業の今後についての考え (R7～R11) とその理由

⑤ タスクフォースで出た意見記入欄

#### 3. ご留意いただきたいこと

8-1.8-2 では第 2 期プロジェクトの実施状況を踏まえた事業の今後についての考え(R7～R11)とその理由を記載していますが、事業の今後は 6 月資料作成時点の意見となり、第 3 期以降については審議会や検討会(資料3)の意見等を踏まえ、検討していきます。

#### 4. 審議委員の皆様をお願いしたいこと

- 事前に資料を確認いただき、当日ご意見をいただければと考えています。(メモ欄をご活用ください)
- 事業数も多く他の議題もあるため、すべてのご意見を審議会当日にいただくことが難しい場合は、ご意見いただくお時間を別途いただければと考えております。



基本目標		基本目標KPI							
行ってみたい住んでみたい、大刀洗町への人の流れをつくる		社会増減(転入者-転出者)							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
①-1:交流を促進する「行ってみたい」									
町を知り興味を持ってもらうことで、交流人口の増加を図り移住のきっかけをつくる。	単年	人	目標値		0	0	0	0	0
			実績値		153	55	171		

1. 具体的な施策名	所信課
レンタサイクル事業	地域振興課

2. 事業の概要

町に訪れた方が町内を巡回し、観光スポットや商店へ移動しやすいようにレンタサイクルを実施する。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
2	53	17	6	6	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

役員費、備品購入費、消耗品費

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント (R2~R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値										
レンタサイクル利用者	単年	%	実績値	3	1	10	11	-	12	教会の見学目的の利用者がほとんどである。R4から今村天主堂閉鎖に伴い注目度が上がり、利用者増加につながった。									
			達成率	25.0%	8.3%	83.3%	91.7%	-											

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

**b** a~dのうち1つを選択。 総合戦略の基本目標KPIの達成において  
a: 非常に有効であった b: 有効であった  
c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった

5-2.5-1の理由

公共交通を利用して、町の観光をする方にとって有効な移動手段として案内ができたため。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
・ホームページ掲載  
・SNS発信  
・サイクルスタンド設置  
・観光冊子に掲載

【成果】  
利用者が情報を見つけ、利用申請をしている。

7. 現状に対する課題

・HP情報の更新がされていないので、活用方法の提案やサイクリングコース等、更なる情報発信が必要。  
・貸出場所が役場となるため、利用時間の制限や休日の利用ができないなど、利用しにくい。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

**継続** 「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。  
発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。  
継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。  
縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。  
廃止: 事業を廃止すること。

8-2. 8-1の理由

県全体でサイクルツーリズムの促進をしているため、さらなる情報発信が必要であると感じるため。

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	年間の件数として12件は少ないと感じる。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組み内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	交流人口には多少つながっていると思うが本事業が直接的に移住に繋がっているのかは分からない。
③事業の今後は適切・妥当か	土・日が借りれないのが増えない理由ではないか、利用者数を増やすためには、「健康増進」につなげていく等のやり方(PR)もあるのではないかと、そもそもニーズはどれくらいあるのか。年間の問い合わせ件数は？外国人も借りれるようにすると利用者が増えるかもしれない。行き先が教会だけでは今後は厳しい。
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	久留米のようなチャリチャリの仕組みを導入すると費用がかかりすぎるが、どこまでやるのか需用(ニーズ)の把握が必要。駅付近に借りれる返却できる場所があると良いのではないかと。公共交通との相性が良さそうなので連携するとよい。

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
行ってみたい住んでみたい、大刀洗町への人の流れをつくる		社会増減(転入者-転出者)							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
①-2:移住を促進する「住んでみたい」 ①-3:定住を促進する「ずっと居たい」									
①-2移住の検討段階から移住後までを一体的にサポートし、移住人口の増加を図る。 ①-3住環境を整え、町に住み続けたいと思えるような取組みをすすめて、定住人口の維持・増加を図る。		単年	人	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	153	55	171		

1. 具体的な施策名	所管課
定住促進住宅整備事業	企画財政課

2. 事業の概要

子育て世帯をメインターゲットとするマンションを民間企業と連携しながら整備し、維持管理する。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
42,507	42,298	42,298	42,298	42,298	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

歳入:家賃+共益費、駐車場代、国庫補助金  
歳出:サービス対価A(建設割賦金)、サービス対価B(維持管理委託費)、修繕費

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値										
スカイラーク 入居率	単年	%	実績値	100	97	98	97	-	90	目標値を上回る入居率であり一定の評価はできると考えているが、今後の築年数の経過とともに数値を維持していく必要がある。									
			達成率	111.1%	107.8%	108.9%	107.8%	-											

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

a	a~dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
---	--

5-2. 5-1の理由

居住空間を安価で提供する当該事業は、移住・定住人口に直接的に寄与する事業であると考えており、全76世帯の世帯構成も子育て世帯が多いため。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 簡条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
民間の委託業者と連携し、適切な入居維持管理を行った。  
【成果】  
この間は、新たな建設もなく維持管理に徹する期間であった。維持管理業務の中では、日頃から民間の委託業者と連絡を密にして、滞りなく事業を遂行できたと考えている。町内外からの入居をいただき、転出後は町内に戸建てを購入し定住していただくケースも多々見受けられた。

7. 現状に対する課題

維持管理費への影響もあるため、可能な限り空き室がない状態を保っていく必要がある。子育て世帯を中心に入居いただくことを目指している一方で、未就学児がいる世帯が年度途中の入居の場合は、保育園に入園できないことを理由に契約を断念するケースもあった。ハード面とソフト面(保育園の受け入れ態勢)の両面を一体的に考えて進めていく必要がある。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

継続	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止: 事業を廃止すること。
----	---

8-2. 8-1の理由

次年度(令和7年度)には、スカイラーク菊池が住居供給開始から10年を経過する年である。築年数が経過しても、日常の維持管理サービス向上を目指し継続的に高い入居率を維持していきたい。

タスクフォース記入欄

①KPI達成状況に係ること	入居率は高い水準であると考えている。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	移住定住に対して直接的に寄与していると考えている。効果は高い。
③事業の後は適切・妥当か	
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	スカイラーク菊池は出入りが多い気がする。定住にも繋がっているのよいと思う。

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
行ってみたい住んでみたい、大刀洗町への人の流れをつくる		社会増減(転入者-転出者)							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
①-2:移住を促進する「住んでみたい」 ①-3:定住を促進する「ずっと居たい」									
①-2移住の検討段階から移住後までを一体的にサポートし、移住人口の増加を図る。 ①-3住環境を整え、町に住み続けたいと思えるような取組みをすすめて、定住人口の維持・増加を図る。		単年	人	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	153	55	171		

1. 具体的な施策名	所管課
移行定住相談事業	企画財政課

2. 事業の概要

移行・定住に役立つ情報をまとめたワンストップ窓口を地域振興課内に設置する。

3. 事業費		単位:千円				
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		<ul style="list-style-type: none"> <li>●主要施策報告に記載する金額を記入してください。</li> <li>●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。</li> </ul> <p>【歳入歳入の説明(簡潔に記入ください※金額不要) 例:需用費(印刷費)、旅費】 窓口設置に係る費用なし</p>
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額		
0	0	0	0	0		

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2～R5の達成状況)	
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値		
相談窓口利用件数	単年	件数	実績値	10	9	11	12	-	12	移行イベントでの東京圏や電話などで近接市町村からの移行検討者の相談を受けており、窓口相談数はKPIを達成している。	
			達成率	83.3%	75.0%	91.7%	100.0%	-			

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2～R6)

**b** a～dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において  
a: 非常に有効であった b: 有効であった。  
c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった

5-2. 5-1の理由

転入者数は増えている状況に対して、窓口利用の件数は目標値には到達していない。ワンストップで相談体制は整えているが、移行後までのフォローまではできていない。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2～R6) 簡条書きなど簡潔に記載ください。

**【取組概要】**  
- 以前は首都圏開催の移行イベントへ職員が参加していたがコロナ禍によってイベントそのものがなくなった。  
- R2年度から久留米連携広域連携中核を開始。  
- R5年度県主催オンライン相談会、久留米広域連携中核都市圏のオンライン移行イベントに参加。  
**【成果】**  
- 電話や窓口でワンストップで移行相談(子育てや住まい、仕事など)を受けており関係機関と情報共有し、スムーズな対応ができています。

7. 残された課題

相談を受けた方とは一時的な相談のみに終始し、継続的な関係性が築けていない。実際の移行につながったかは把握できていない。しかしながら他業務と並行して行うため、十分にフォローできない現状がある。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7～R11)

**継続** 「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。  
**発展:** 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。  
**継続:** 現行事業の内容のまま、継続すること。  
**縮小:** 事業規模や対象を縮小し、継続すること。  
**廃止:** 事業を廃止すること。

8-2. 8-1の理由

移行者が多いことから、ニーズは高い。現在も対応できるオンライン相談を周知しながら継続する。本町単独のイベント開催は難しいため、久留米広域連携中核や県の移行の取組みを活用した対外的なPRを行っていく。

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	相談件数は少ないようにも感じる。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	移行に対して相談できる場所があることは良いと思う。
③事業の今後は適切・妥当か	費用が大きいかかるものではないため窓口はあって良いと思う。やめる必要はない。
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
行ってみたい住んでみたい、大刀洗町への人の流れをつくる		社会増減(転入者-転出者)							
基本的方向		種別	単位	R2	R3	R4	R5	R6	
①-2:移住を促進する「住んでみたい」									
移住の検討段階から移住後までを一體的にサポートし、移住人口の増加を図る。		単年	人	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	153	55	171		

1. 具体的な施策名	所管課
空き家利活用総合プロジェクト	地域振興課

2. 事業の概要

空き家の情報を提供できるシステムを活用し、不動産業者等と連携を図りながら、空き家の所有者と移住希望者のマッチングを行い、空き家のフル活用を目指す。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
0	3,182	2,363	0	250	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

R3:専務的会計年度任用職員報酬等(協力隊)3,182,000  
R4:空き家バンク相続登記補助金件数100,000(50,000×2件)  
専務的会計年度任用職員報酬等(協力隊)2,263,000

4-1. 個別事業KPIの達成状況				4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)					
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値
空き家の活用件数	単年	件	実績値	0	0	1	2	-	1
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%	200.0%	-	

空き家活用件数の目標値は超えているが、物件登録数に対しての件数に比べると少ない状況が続いている。

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

**b** a~dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において  
a: 非常に有効であった b: 有効であった。  
c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった

5-2.5-1の理由

空き家活用件数の目標値は超えているが、物件登録数が増えてきている。空き家バンク物件購入に伴う移住者もいることから「b」と判断した。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
・平成29年度から空き家バンクを開始  
・令和4年から相続登記補助金を開始  
・空き家実態調査の結果から空き家を保有している方を特定し、空き家バンクに関するチラシ・周知を郵送して周知を行った。  
・固定資産税の納付書を郵送する際の封筒に空き家バンクに関する周知イラスト等を入れて送付した。  
【成果】  
・空き家で悩んでいる方やチラシを見た方から、空き家バンクに関する相談を受け、空き家所有者の悩み事にアドバイスすることができた。

7. 現状に対する課題

大刀洗町の空き家の数に対して、空き家バンクへの登録数が少ないことが課題である。  
また、登録物件のうち、売買まで至らない物件が複数あることも課題であるので、所有者との定期的な情報交換が必要。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

**継続** 「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。  
発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。  
継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。  
縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。  
廃止: 事業を廃止すること。

8-2. 8-1の理由

空き家所有者で、かつ安心して空き家バンクへ掲載したい方にとっては、空き家バンクは必要な取り組みであるため、継続する必要があると考える。

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	空き家に対して登録件数は非常に少ないように感じる。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	新築が人気であるため、空き家は大きなメリット(安価、リフォーム補助など)がないと移住に繋がるとは考えにくい。
③事業の後は適切・妥当か	核家族が進む中で、親が住む実家にもどってくる選択肢は少ない。家は自分の自由に決めたい部分も多いので空き家は無理。でも、帰ってくる時に改修費用が多く出るのであれば空き家でもいいかも。リフォーム費用を半分くらいいただけたらいい。使えない家は積極的に取り壊した方がいい。
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	物件登録の件数が伸びていないのは、登録にハードルがあるのか。(民間のやりとりよりは書類の提出等は複雑となる)

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
行ってみたい住んでみたい、大刀洗町への人の流れをつくる		社会増減(転入者-転出者)							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
①-2:移住を促進する「住んでみたい」									
移住の検討段階から移住後までを一体的にサポートし、移住人口の増加を図る。		単年	人	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	153	55	171		

1. 具体的な施策名

所管課

移住定住応援BOOK	企画財政課
------------	-------

2. 事業の概要

本町への移住を検討する方に役立つ情報、先輩移住者の話等も交えた応援BOOKを製作し配架。

3. 事業費

単位:千円

R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額
126	9	94	0	0

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

【歳入歳入の説明(簡潔に記入ください※金額不要) 例:需用費(印刷費)、旅費]  
R2:定住パンフレット作成委託料  
R3:印刷費  
R4:印刷費(一部修正デザイン含む)

4-1. 個別事業KPIの達成状況

4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)

KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値	
冊子配布枚数	単年	札	実績値	200	180	100	150	-	1000	コロナ禍によって移住イベントへ参加することがあまりなくなったためKPIを大幅に達成していない結果となった。
			達成率	20.0%	18.0%	10.0%	15.0%	-		

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

<b>b</b>	a~dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において a:非常に有効であった b:有効であった。 c:あまり有効ではなかった d:有効ではなかった
----------	--

5-2.5-1の理由

移住相談を受ける際に、移住定住応援BOOKを活用しワンストップでの対応に活用できた。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
R2年度:九州産業大学と連携し、移住定住応援BOOKを刷新。動画やポスターもあわせてリニューアルを行った。  
R3~4年度:福岡県が東京都に設置する移住センターへ配架、夜場窓口や移住イベント(久留米広域連携中核都市圏・福岡県)で配布している。コロナ禍においてリアルイベントがなく、オンラインイベントとあわせて配布することがほとんどであった。  
R5年度:夜場窓口での配架、移住イベントでの配布が中心であった。  
【成果】  
移住を検討する方への町の紹介を行う入口として活用することができた。

7. 現状に対する課題

配布先や活用先の検討とあわせて、ウェブ媒体やホームページとの連携のあり方も検討が必要。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

<b>継続</b>	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展:対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続:現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小:事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止:事業を廃止すること。
-----------	---

8-2. 8-1の理由

移住を検討する方にとっては町の概要を知るために必要なツールであると考えため。KPIの設定については再考の余地があると考え。

タスクフォース記入欄

①KPI達成状況に係ること	配布冊数が少ない
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組み内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	少しは効果あり
③事業の今後は適切・妥当か	病院の情報、しごとの情報、交通の状況が大切
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	他の市町村にも置いてもらいたい。不動産、結婚式場。ネットでみるから冊子はどこまで必要なのか

審議委員メモ欄

--

基本目標		基本目標KPI							
行ってみたい住んでみたい、大刀洗町への人の流れをつくる		社会増減(転入者-転出者)							
基本的方向		種別	単位	R2	R3	R4	R5	R6	
①-2:移住を促進する「住んでみたい」									
移住の検討段階から移住後までを一體的にサポートし、移住人口の増加を図る。		単年	人	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	153	55	171		

1. 具体的な施策名	所管課
移住支援金交付金事業	企画財政課

2. 事業の概要

東京圏から就業又は起業を伴い大刀洗町に移住した場合に、移住にかかる費用の支援として支援金を交付する。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
0	0	2,000	1,000	2,000	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

【歳入歳入の説明(簡潔に記入ください※金額不要) 例:需用費(印刷費)、旅費】  
補助金※歳入においては、国:県:市=1/2:1/4:1/4

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値	事業開始してすぐには、活用はほぼなかったが近年数件実績としてあがってきている。									
移住支援金交付件数	単年	人	実績値	0	0	2	1	-	2										
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	-											

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

**C** a~dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において  
a: 非常に有効であった b: 有効であった。  
c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった

5-2.5-1の理由

東京圏や名古屋圏、大阪圏からの定住には一定に効果があるかもしれないが、本町へ転入してくる方の多くは隣接市町または福岡市などであるため、基本目標への貢献は低いように考える。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 簡条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
R元年度から実施。窓口やHP、移住相談を受けた際に補助金として案内している。  
県の補助要件緩和(移住後すぐに申請できるようになる)へ都度対応してきた。  
【成果】  
5年間以上、町へ定住する意思がある方が対象であった要件を欠いた際に支援金を返還する場合もあるため、定住には結びつきやすい。R5年度実績1件については移住支援金の存在がきっかけで移住され、あわせて町内企業への就業に繋がっている。

7. 現状に対する課題

元来、都心部から地方に如何に移住を進めるかが本補助金の目的であるため、補助金の問い合わせは多いものの、近隣市町や福岡県内、九州内からの転入は対象外であるため実際の交付にはつなげない。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

**廃止** 「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。  
発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。  
継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。  
縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。  
廃止: 事業を廃止すること。

8-2.8-1の理由

どういった方の町への移住を促したいのかターゲットを明確にした補助金設計が必要である

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	数が少ない
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	あまり寄与していない
③事業の今後は適切・妥当か	継続してもいいのではないかと。本来の趣旨は定住であれば定住に向けた方向にシフトしてもよい。
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	誰でももらえるなら意味が無い。補助金と呼び水になっているわけではない。

審議委員メモ欄

基本目標	基本目標KPI							
行ってみたい住んでみたい、大刀洗町への人の流れをつくる	社会増減(転入者-転出者)							
基本的方向	種別	単位	R2	R3	R4	R5	R6	
①-2:移住を促進する「住んでみたい」 ①-3:定住を促進する「ずっと居たい」			目標値	0	0	0	0	0
①-2移住の検討段階から移住後までを一括的にサポートし、移住人口の増加を図る。 ①-3住環境を整え、町に住み続けたいと思えるような取組みをすすめて、定住人口の維持・増加を図る。	単年	人	実績値	153	55	171		

1. 具体的な施策名	所管課
住宅改修補助金交付事業	地域振興課

2. 事業の概要

町内事業者に改修工事を依頼する方に対して、工事に伴う費用の一部を補助。

3. 事業費 単位:千円				
R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額
	2,990	2,866	1,507	3,000

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

補助金

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2～R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	目標値										
移住後1年以内に完了する住宅改修に対する交付件数	単年	件	実績値	-	1	2	0		1	移住後の改修については、徐々に認識されているが、さらなる周知により利用促進が必要である。今後も事業者と連携しながら、事業促進を図る。  空き家改修における補助金の利用促進のための周知を強化する必要がある。 他部署と連携を図りながら、空き家の活用を促進し事業活用を目指す。									
			達成率	-	100.0%	200.0%	0.0%	-	-										
空き家の改修に対する交付件数	単年	件	実績値	-	0	0	0		1										
			達成率	-	0.0%	0.0%	0.0%	-	-										

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2～R6)	
C	a～dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった

5-2.5-1の理由

移住後の期間設定や空き家の改修で補助が可能な改修箇所などの要件が高いため、認知されているが利用していただけないと推測されるため、移住直後の需要、空き家の需要等も含めて検討する必要がある。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2～R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
・町内施工業者へ個別送付による周知、ホームページや広報紙での周知

【成果】  
・実際に広報紙を持って窓口へお越しになる方やホームページを見て電話をしています。という方も多く、周知の効果は感じられている。

7. 現状に対する課題

・要件の緩和や期間設定の見直しを行い、利用を促進  
・施工業者との連携

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7～R11)

**発展**

「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。  
発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。  
継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。  
縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。  
廃止: 事業を廃止すること。

8-2. 8-1の理由

事業実施のための要件見直しなどを行い、事業として利用しやすいものへ改善していく必要がある。

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	少なすぎる。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	少しは意味がある
③事業の今後は適切・妥当か	補助金の額を高めないとメリットが薄い。町内の事業者というところがネックになる。要件の拡充を検討してもよいのでは。
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	補助金額がたりない。件数が少なすぎるので移住者にもっとフォーカスあてるなどしてもよいのでは。

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
子どもも親も、共に輝けるようにみんなで応援する。		出生率・年少人口の割合							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
②-1: 出会いから出産までの応援「産みたい」									
出会いから出産までを一体的にサポートし、出産率の向上を図る。		出生率 単年	数	目標値	1.64	1.64	1.64	1.64	1.64
				実績値	1.91	1.7	2.0	2.0	2.0
		年少人口の 割合 単年	%	目標値	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1
				実績値	14.8	15.0	15.2	15.3	15.3

1. 具体的な施策名	所管課
こんにちはお母さん事業	健康課

2. 事業の概要

産後の母親の心身の安定や、育児不安の軽減を図るため、産後ケア事業者と連携し、産後に不安を抱える方を支援する様々な種類のケアメニューを導入する。

3. 事業費					単位:千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主要施策報告に記載する金額を記入してください。</li> <li>●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。</li> </ul>
R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)		
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額		
425,710	633,850	795,300	673,600	1,287,000	委託料	

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	目標値										
相談できる環境が整っている人の割合	単年	%	実績値	-	78.4	98	98		100	相談できる環境が整っている人の割合はR4年、R5年目標を達成できた。R6年も相談できる環境を整えていくことに努めていきたい。									
			達成率	-	78.4%	98.0%	98.0%	-											

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

a	a~dのうち1つを選択。 総合戦略の基本目標KPIの達成において a:非常に有効であった b:有効であった。 c:あまり有効ではなかった d:有効ではなかった
---	---

5-2. 5-1の理由

産後ケア事業を実施することで、安心して子育ての相談ができるような体制にしている。コロナ禍で利用者数は減少していたが、R4年より増加が見られる。1歳6か月児健診時に子育ての相談ができていくアンケートを実施しており、ほとんどの方が相談できていると回答を得ているため

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 簡条書きなど簡潔に記載ください。

**【事業内容】**  
産後ケア事業(日帰り型、訪問型、宿泊型、母乳育児相談)  
実施場所:清心乳児園、心ゆるり、さとう産婦人科、深川レディスクリニック、宮原レディースクリニック  
自己負担額:日帰り型500円/回、訪問型250円/回、宿泊型1050円/回、母乳育児相談無料 ※非課税世帯、生活保護世帯は無料  
利用回数:日帰り型4回まで、宿泊型3回まで、母乳育児相談は1回まで ※申請すれば延長あり  
対象:出産1年未満の産婦と乳児

**【取組概要】**  
・R4より産後ケアアシヨーツステイが利用スタート。  
・R5より産後ケア委託先に産婦人科の医療機関が追加。  
・R6より産後ケア自己負担額の減額をスタート、産婦人科の医療機関2か所が追加。

**【成果】**  
・コロナ禍で利用者数は減少していたが、R4年より増加が見られる。  
・1歳6か月児健診アンケートにおいて、相談できる環境が整っている人の割合は9割以上を推移している。

7. 現状に対する課題

さらに安心して妊娠、出産、子育てができる環境を整備するため、産後ケア事業の充実を図る必要がある。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

継続	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展:対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続:現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小:事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止:事業を廃止すること。
----	---

8-2. 8-1の理由

はじめての妊娠や出産に不安をお持ちの方に対して、今後も母子手帳交付時、出生届届出時に子育て支援や相談先のご案内を実施し、産後ケア事業の周知に努め、利用につなげている必要がある。

タスクフォース記入欄

①KPI達成状況に係ること	KPIを「相談できる環境が整っているが95%以上」を保っているに修正する。など
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組み内容は有効であったか、担当課の評価は適切・妥当か	妥当
③事業の今後は適切・妥当か	今後も継続
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	アンケートの内容の評価という視点も取り入れてみれば？ 相談できているかどうかだけでなく、その先についての視点を追加する必要があるのでは？ 相談体制ができているということも大事だと思う。

審議委員メモ欄

--

基本目標		基本目標KPI							
子ども親も、共に輝けるようにみんなで応援する。		出生率・年少人口の割合							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
②-1: 出会いから出産までの応援「産みたい」									
出会いから出産までを一体的にサポートし、出産率の向上を図る。	出生率 単年	数	目標値	1.64	1.64	1.64	1.64	1.64	
			実績値	1.91	1.7	2.0	-	-	
	年少人口 の割合 単年	%	目標値	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	
			実績値	14.8	15.0	15.2	15.3	-	

1. 具体的な施策名

所管課

結婚生活支援金事業	企画財政課
-----------	-------

2. 事業の概要

婚姻に伴う経済的支援負担を支援するため、住宅費用、住リリフォーム費用及び引越し費用の一部を補助する。

3. 事業費

単位:千円

R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額
0	1,161	1,573	1,575	9,000

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

交付人数 本事業費は国2/3:町1/3  
R3:6名  
R4:7名  
R5:11名

4-1. 個別事業KPIの達成状況

4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)

KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値
交付件数	単年	件	実績値	-	5	7	11	-	20
			達成率	-	25.0%	35.0%	55.0%	-	

目標値には達していないものの、年々実績値は上がっており、R5はR3の2倍以上の実績となった。

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

b	a~dのうち1つを選択。 総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
---	---

5-2.5-1の理由

本事業は、大刀洗町の定住者の増加や出生数の増加にもつながる事業であり、なかには本事業を町内での住宅取得で検討している方や、その旨の相談等も多くあり、大刀洗町への定住にもつながると考えているため。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
R3年から始めた本事業は、開始時こそ認知度が低く、補助金活用数も少なかったが、窓口でのチラシ周知や、ポスター設置、婚姻届けを提出された方たちへの周知を行うことで、実績値を増やしてきた。  
【成果】  
補助金交付後に行うアンケートの集計結果より、「自分たちの結婚が地域に応援されていると感じますか」という設問に対して89%の夫婦が「応援されていると感じる」と回答。

7. 現状に対する課題

婚姻期間や対象費用発生期間、合計世帯所得の項目で対象にならない方が多くいる。  
本事業の補助金を交付した後を追うことができていないため、定住率や出生率などの正確な数値を把握できていない。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

継続	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などをを行い継続すること。 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止: 事業を廃止すること。
----	--

8-2. 8-1の理由

結婚新生活の初期費用等で悩んでいる方は多くおられるため、本事業は継続して行うべきだと考える。

タスクフォース記入欄

①KPI達成状況に係ること	年々増加しているのので、このまま継続していいと思う。予算の兼ね合いもあると思う。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	妥当
③事業の後は適切・妥当か	妥当
その他のコメント(KPI設定や第3期決定時に必要な視点)	KPIを達成しないのならば補助要件や基準額の見直しもしていいのでは？

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
子ども親も、共に輝けるようにみんなで応援する。		出生率・年少人口の割合							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
②-2:育む応援「育てたい」									
子育てを行う親へのサポートを充実させ、「子育てするなら大刀洗町で」と思う人を増やす。	出生率 単年	数	目標値	1.64	1.64	1.64	1.64	1.64	
			実績値	1.91	1.7	2.0	-		
	年少人口 の割合 単年	%	目標値	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	
			実績値	14.8	15.0	15.2	15.3		

1. 具体的な施策名	所管課
イキメン創生プロジェクト事業	企画財政課

2. 事業の概要

男性の子育て・地域活動への参画を促すために、男性の積極的な子育て参画を目指し、意識を変えるための講座を実施する。

3. 事業費 単位:千円

R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額
328	569	281	285	759

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

【歳出入の説明(簡潔に記入ください※金額不要) 例:需用費(印刷費)、旅費】

4-1. 個別事業KPIの達成状況

4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)

KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値
参加者数	単年	人	実績値	24	217	68	95		100
			達成率	24.0%	217.0%	68.0%	95.0%	-	

目標値には達していないものの、年々実績値は上がってきている。対象者の興味を引くための内容の検討や、調理室が改装工事で大きくなったことが実績値が増えた要因だと考える。

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

b	a~dのうち1つを選択。 総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
---	---

5-2.5-1の理由

本事業は、町内在住の男性に育児家事参入を促すことで、大刀洗町の男女共同参画の推進度をあげることに繋がると考えるため。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
お父さんとお子さんを対象とした、料理講座やDIY講座、体操講座などを行った。平成28年から行っている本事業は、新型コロナウイルス及び中央公民館の改修工事の影響で参加者数が減っていたが、少しずつ回復しており、直近は年に4回の講座と1回の講演会を継続的に開催している。

【成果】  
参加者アンケートより、「以前よりも家事・育児・地域活動に参加してみたいと思いますか」の設問に対して、80%以上が「思う」と回答。また、R4は76名、R5は95名の参加があり、町内在住の男性及びそのお子さんの男女共同参画の意識づくりを行っていると考えている。

7. 現状に対する課題

参加していただく方の中に、過去に参加経験のある方が多い。男性の家事育児参画を促進させるためには、初めて参加する方など、より多くの方に参加してもらうための取り組みが必要だと考える。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

継続	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などをい継続すること。 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止: 事業を廃止すること。
----	--

8-2. 8-1の理由

「子育てするなら大刀洗町で」と思う人を増やすためには、より多くの男性(父親)に家事育児参画の意識付けを行う必要がある。単発で開催を行う現状のイキメン養成講座は、いつでも参加しやすく、より多くの方が参加の機会を得ることが出来る。より多くの方が参加することは、大刀洗町の男性の家事育児参画を促進することにつながるため、継続して実施する必要があると考える。

タスクフォース記入欄

①KPI達成状況に係ること	KPIが100人となっているが、1つの講座の募集人数が少ないものがあるので、達成できないのではないか?見直しが必要では?
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組み内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	有効だと思うが、見直しが必要では?
③事業の今後は適切・妥当か	内容について、他課との連携など、内容を見直した方がいいのでは?
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	KPIは参加人数ではなく、他事業との連携について数値化できないか?

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
子ども親も、共に輝けるようにみんなで応援する。		出生率・年少人口の割合							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
②-2:育む応援「育てたい」									
子育てを行う親へのサポートを充実させ、「子育てするなら大刀洗町で」と思う人を増やす。	出生率 単年	数	目標値	1.64	1.64	1.64	1.64	1.64	
			実績値	1.91	1.7	2.0	-	-	
	年少人口 の割合 単年	%	目標値	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	
			実績値	14.8	15.0	15.2	15.3	-	

1. 具体的な施策名

所管課

子育て相談事業	こども課
---------	------

2. 事業の概要

子育てに不安を抱える保護者等を支援するために、子育て相談に特化した専門職員を配置し、巡回支援する。

3. 事業費

単位:千円

R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額
4,832	6,309	8,195	8,451	9,080

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

歳出:報酬、職員手当、共済費、旅費  
歳入:子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

4-1. 個別事業KPIの達成状況

4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)

KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値
支援者数	単年	人	実績値	109	113	130	128		220
			達成率	49.5%	51.4%	59.1%	58.2%	-	

目標値に対しての達成率は、5~6割ほどであるが、相談業務を数値であらわすことは難しい。

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

b	a~dのうち1つを選択。 総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
---	---

5-2.5-1の理由

保護者との関係性を築き、定期的に電話連絡や訪問を実施する子ども支援ワーカーの実績は、有効であったと考える。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】

-子育ての相談や支援をするために、子ども支援ワーカーを配置する。

【成果】

定期的な電話連絡や家庭訪問、面談を実施できたことは、保護者との関係性がつながっていることになり、相談や支援の体制はできている。

7. 現状に対する課題

支援する家庭の状況から、長期的な支援になり、子ども支援ワーカーへの負担が増す。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

継続	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展:対象者の拡大や補助内容の拡充などをを行い継続すること。 継続:現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小:事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止:事業を廃止すること。
----	--

8-2. 8-1の理由

令和6年度からのこども家庭センター設置により、子ども支援ワーカーの役割はとて大きく、継続する必要があるため。

タスクフォース記入欄

①KPI達成状況に係ること	目標設定が難しい。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組み内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	取り組みは有効だが、KPIを見直した方がいい
③事業の後は適切・妥当か	妥当
その他のコメント(KPI設定や第3期廃止時に必要な視点)	大刀洗町内での虐待関連死が「0人」の状態を継続する

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
子ども親も、共に輝けるようにみんなで応援する。		出生率・年少人口の割合							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
②-2:育む応援「育てたい」									
子育てを行う親へのサポートを充実させ、「子育てするなら大刀洗町で」と思う人を増やす。	出生率 単年	数	目標値	1.64	1.64	1.64	1.64	1.64	
			実績値	1.91	1.7	2.0	-		
	年少人口 の割合 単年	%	目標値	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	
			実績値	14.8	15.0	15.2	15.3		

1. 具体的な施策名

所管課

子どもへの暴力防止プログラム事業	こども課
------------------	------

2. 事業の概要

保育園・小学校・中学校の児童生徒・教職員・保護者、町職員、学童保育所支援員他を対象に「子どもへの暴力防止プログラム」ワークショップを実施する。

3. 事業費

単位:千円

R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額
476	591	602	866	1,208

- 主要施策報告に記載する金額を記入してください。
- デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

委託料

4-1. 個別事業KPIの達成状況

4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)

KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値
開催回数	単年	回	実績値	17	20	22	30		40
			達成率	42.5%	50.0%	55.0%	75.0%	-	

目標値には達していないが、令和2年度から、開催回数としては増えている。

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

b	a~dのうち1つを選択。 総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
---	---

5-2.5-1の理由

開催回数は、目標値に近づいている

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

- 【取組概要】  
子ども(年長児・小3・中2)や教職員、学童支援員等、「子どもへの暴力防止プログラム」ワークショップを実施する。
- 【成果】  
毎年、継続することで、このワークショップを経験した子どもや大人が増えていくことで、予防教育となる。

7. 現状に対する課題

新型コロナ感染症流行以降、保護者対象のワークショップをほとんど開催できていない。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

継続	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止: 事業を廃止すること。
----	---

8-2. 8-1の理由

子どもへの暴力を防止するための予防教育として取り組んでいる事業であり、継続することでこそ効果があると考えため

タスクフォース記入欄

①KPI達成状況に係ること	年々増加はしているが、回数だと分かりにくい。KPIは変えたほうがいいのでは？
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組み内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	回数だと成果が分かりにくいのでは
③事業の後は適切・妥当か	妥当
その他のコメント(KPI設定や第3期発定時に必要な視点)	回数ではなく、延べ参加人数にしてみても？参加人数を増やすことが知っている人の増加につながる。参加人数は、現状の人数を維持するのが大事。

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
子ども親も、共に輝けるようにみんなで応援する。		出生率・年少人口の割合							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
②-2:育む応援「育てたい」									
子育てを行う親へのサポートを充実させ、「子育てするなら大刀洗町で」と思う人を増やす。	出生率 単年	数	目標値	1.64	1.64	1.64	1.64	1.64	1.64
		実績値	1.91	1.7	2.0	-			
	年少人口 の割合 単年	%	目標値	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1
		実績値	14.8	15.0	15.2	15.3			

1. 具体的な施策名	所管課
保育士奨学金返済支援事業	こども課

2. 事業の概要

町内の保育園に勤務する保育士が奨学金を返還している場合に、その費用の一部を補助する。

3. 事業費					単位:千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主要施策報告に記載する金額を記入してください。</li> <li>●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。</li> </ul>
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額		
51	342	868	1,053	1,344	保育士奨学金返済支援事業補助金	

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)										
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値	毎年利用者数は増加傾向となっており、制度の周知が進んできたものと思われる。										
補助利用者数	単年	人	実績値	2	3	8	9	8	8											
			達成率	25.0%	37.5%	100.0%	112.5%	-												

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

b	a~dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
---	---

5-2.5-1の理由

保育園からも、奨学金返済の補助があることが学生などへのPRポイントのひとつになっていると書いていただいたりするなど、保育士確保や離職防止に有効であると考えられるため。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
- 保育園を通じ、全保育士に事業の周知を行っている。  
- 保育園が保育士養成校などに行く際に、この事業のチラシを持っていきPRしている。  
【成果】  
- 実際に、新たに採用された保育士がこの補助金を申請するなど、保育士確保につながっている。

7. 現状に対する課題

より多くの保育士に知ってもらうための周知方法について検討する必要がある

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

継続	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止: 事業を廃止すること。
----	---

8-2. 8-1の理由

現時点では、補助期間(5年間)や補助基準額については変更する予定はないが、保育士確保のために必要な事業であるため

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	KPIを変えたほうがいいのでは。 例: 保育士不足で利用定員まで受け入れができない保育園が「0」になっている。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	妥当
③事業の後は適切・妥当か	妥当
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	継続して勤務しているかどうかの視点を取り入れていいのでは。

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
子ども親も、共に輝けるようにみんなで応援する。		出生率・年少人口の割合							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
②-2:育む応援「育てたい」									
子育てを行う親へのサポートを充実させ、「子育てするなら大刀洗町で」と思う人を増やす。	出生率 単年	数	目標値	1.64	1.64	1.64	1.64	1.64	
			実績値	1.91	1.7	2.0	-	-	
	年少人口 の割合 単年	%	目標値	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	
			実績値	14.8	15.0	15.2	15.3	-	

1. 具体的な施策名

所管課

待機児童支援事業	こども課
----------	------

2. 事業の概要

認可保育所を希望したが入所できずに認可外保育施設、または企業主導型保育所を利用している者に対して補助金を交付する。

3. 事業費

単位:千円

R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額
989	713	0	524	1,000

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

待機児童支援補助金

4-1. 個別事業KPIの達成状況

4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)

KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値
待機児童数	単年	%	実績値	32	39	38	36		0
			達成率	-	-	-	-	-	-

年度末時点の未入所児童数は「0人」にはなっていない。

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

b	a~dのうち1つを選択。 総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
---	---

5-2.5-1の理由

保育園の新設に伴い待機児童は減少しているが、認可外保育施設を利用している保護者の経済的負担の軽減につながっている。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
・待機児童となった保護者に制度の説明をおこなっている  
【成果】  
・保護者の経済的負担の軽減につながっている

7. 現状に対する課題

「特定の保育園を希望している」保護者については補助対象外としているが、特定の保育園を希望する保護者が増えているため、補助対象にするかどうかの線引きを検討する必要がある。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

継続	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止: 事業を廃止すること。
----	---

8-2. 8-1の理由

保護者が経済的負担を理由に認可外保育施設を利用できないということにならないようにする必要があるため。

タスクフォース記入欄

①KPI達成状況に係ること	KPIは変更すべき。待機児童ではなく、未入所児童にするとい。金額は増えるのがいいのではなく、減るのが
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容が有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	効果的だが、内容については対象者の考え方も含めて検討する
③事業の後は適切・妥当か	妥当
その他のコメント(KPI設定や第3期発定時に必要な視点)	KPIは変更する。

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
子ども親も、共に輝けるようにみんなで応援する。		出生率・年少人口の割合							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
②-3:子どもの応援「学びたい」									
子どもが大刀洗町で学ぶことを喜びにできるよう、学びの質の向上や多様な学びの場を提供する。	出生率 単年	数	目標値	1.64	1.64	1.64	1.64	1.64	
			実績値	1.91	1.7	2.0	-	-	
	年少人口の 割合 単年	%	目標値	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1	
			実績値	14.8	15.0	15.2	15.3	-	

1. 具体的な施策名	所管課
コミュニティースクール事業	こども課

2. 事業の概要

学校運営に、保護者や地域の方が参画することで、学校と地域の力を合わせ、それぞれの立場で主体的に地域の子どもの成長を支援する。

3. 事業費		単位:千円			
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	●主要施策報告に記載する金額を記入してください。 ●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。 報酬、謝金、保険料、消耗品費、郵便料
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
2,357	2,117	2,437	2,393	3,317	

4-1. 個別事業KPIの達成状況		4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)							
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値
保護者・地域等の参画者数	単年	人	実績値	1000	370	1000	1000		1000
			達成率	100.0%	37.0%	100.0%	100.0%	-	

コロナ禍を除き、1枚あたり延べ200名前後の地域人材が学校に入り、子ども達の学習支援や教職員の補助等を行った。

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

**b** a~dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において  
 a: 非常に有効であった b: 有効であった。  
 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった

5-2.5-1の理由

地域の多様な人材が学校に関わることで、学校の業務を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを進める機会となった。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
 ・学校運営協議会を中心に、各校区、特色ある取組がなされ、CS推進協議会にて情報共有を行った。  
 (例: ゲストティーチャアの調整、学校行事への参画、災害時の児童引き渡しの際の協力、危険個所の合同確認、コミュニティースクールだよりの発行等)  
 ・大刀洗中学校において、生徒、学校、地域住民による対話学習(トークフォークダンス)を実施した。

【成果】  
 ・地域とともにある学校、学校を核とした地域づくりを進める機会となっている。  
 ・コミュニティづくりの小さな主体者(=自分にできることから関わろうとする気持ち)を多く育てることにつながった。

7. 現状に対する課題

・学校から地域人材に直接依頼するボランティア制度と、学校運営協議会をきっかけとして動き出す地域学校協働活動を使い分けたり組み合わせたりしながら、持続可能な形にしていくこと。  
 ・新規人材の発掘

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

**継続** 「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。  
 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。  
 継続: 現行事業の内容のまま継続すること。  
 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。  
 廃止: 事業を廃止すること。

8-2. 8-1の理由

今後も、学校運営に地域の声を生かし、地域と学校がパートナーとして連携・協働して、子どもを育てていくため。

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	参画者数の把握はどうしているのか? 200名×4小1中中でしているだけ? 実際はどうか? 地域の人が学校の出ごとに参加した人では? このKPIでは、目的が達成できているのかどうかかわからない。KPIは変えたほうがいいのか?
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか、担当課の評価は適切・妥当か	内容は妥当
③事業の今後は適切・妥当か	妥当
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	KPIをもっと目的が達成できているかどうか判断できるような指標に変えたほうがいい。例: 現在運営できている各組織が無くなることなく維持できている。

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
しごとに誇りや、やりがいを感じられるように応援する。		町内事業所の従業員数							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
③-1:起業・就業の応援「やってみたい」				目標値	4,835	4,835	4,835	4,835	4,835
起業意欲のある人や就業希望者をサポートし、働きたいという希望をかなえる。		単年	人	実績値	4,835	5,106	5,106	5,106	

1. 具体的な施策名	所管課
創業支援事業	地域振興課

2. 事業の概要

商工会と金融機関と連携し、企業に関するワンストップ窓口を設置し、起業希望者向けのセミナー等も実施する。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
0	0	0	0	2,000	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

補助金(R6年度より)

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2～R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値										
起業件数	単年	件	実績値	0	1	4	5		1	コロナ禍の収束により、創業支援等のための各種セミナーを開催することができ、それに伴い起業件数も順調に伸びてきている。									
			達成率	0.0%	100.0%	400.0%	500.0%	-											

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2～R6)

a	a～dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
---	--

5-2. 5-1の理由

起業件数について、目標値が想定を相当上回ったため。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2～R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

**【取組概要】**  
商工会と金融機関と連携し、起業希望者向けのセミナー等(創業塾、インボイス制度・電子帳簿保存法への対応講習会等)を実施した。

**【成果】**  
新規起業件数の内訳について、建設業3件、サービス業2件であった。

7. 現状に対する課題

今後、人口減少に伴う廃業等が増加していくと考えられる。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7～R11)

発展	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止: 事業を廃止すること。
----	---

8-2. 8-1の理由

令和6年度から町独自事業として、創業・新規事業展開支援に対する補助を実施する。

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	町が把握している部分ではないため定かではない。 昨年度から町と一緒にやっていくように国の動きもなっている。消極的なKPIである。もっと多くて良いと思う。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	直接的な町内起業につながるような事業設計にはなっていないため、起業が直接的に促されるものではない。
③事業の今後は適切・妥当か	補助金が一番の支援になると思うが、セミナーの開催は新しい補助事業との関連もあるため継続実施が必要である。
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	起業を検討している方の相談先としては、県が力を入れているので町を飛び越えて県に相談をしているケースが多いような気がする。

審議委員メモ欄



基本目標		基本目標KPI							
しごとに誇りや、やりがいを感じられるように応援する。		町内事業所の従業員数							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
③-3:多様な人材の応援「活かしたい」									
高齢者、女性、障がい者、外国人など、多様な人材が活躍できるよう支援する。		単年	人	目標値	4,835	4,835	4,835	4,835	4,835
				実績値	4,835	5,106	5,106	5,106	

1. 具体的な施策名	所管課
シルバー人材センター事業	福祉課

2. 事業の概要

就労の意欲をもつ65歳以上の高齢者に対し、その能力に応じた雇用・就労の機会を提供できるよう支援する。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
9,470	9,867	10,009	9,354	9,648	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
 ●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

補助金、賛助会費

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2～R5の達成状況)	
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値		
登録者数	単年	人	実績値	77	70	72	72		100	65歳以上で引き続き就労している人もいるため、登録者数はほぼ横ばいである	
			達成率	77.0%	70.0%	72.0%	72.0%	-			

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2～R6)

<b>b</b>	a～dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった    b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった    d: 有効ではなかった
----------	--

5-2.5-1の理由

現状維持できているため

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2～R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
 ・65歳以上に対し、加入促進案内を行っている  
 ・町の事業との連携(長寿健康増進事業における送迎、高齢者向けスマホ教室開催など)

【成果】  
 ・高齢者の社会参画の場を確保できている

7. 現状に対する課題

登録者数が大幅に伸びない

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7～R11)

<b>継続</b>	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止: 事業を廃止すること。
-----------	---

8-2. 8-1の理由

シルバー人材センター以外にも社会参画の場が増えているが、高齢者の身近な活動の場として事業を継続していく

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	65歳以上の人口に対する割合で目標を設定した方が良いのではないか。100人の数値目標の設定条件が分からないと判断しづらい。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	直接的な関係性に無いように感じる。
③事業の後は適切・妥当か	利用者視点としては、プロトの比較に勝つような値段設定が必要ではないか。登録者視点としては、資格取得支援が制度についているとよい。
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
しごとに誇りや、やりがいを感ぜられるように応援する。		町内事業所の従業員数							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
③-3:多様な人材の応援「活かしたい」									
高齢者、女性、障がい者、外国人など、多様な人材が活躍できるよう支援する。	単年	人	目標値	4,835	4,835	4,835	4,835	4,835	
			実績値	4,835	5,106	5,106	5,106		

1. 具体的な施策名	所管課
町民参加型マルシェ支援事業	地域振興課

2. 事業の概要

高齢者、女性、障がい者、外国人など多様な人材が参加する市場を運営・支援する。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
2362	2,502	2,673	3,057	3,943	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

報酬、職員手当等、旅費

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2～R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5(2023)	R6 (2024)	目標値	モノ(農産品、食品加工品、手芸品、木工品、お花など)だけでなく、コト(マッサージ、占い、AIなど)を扱う作り手が参画している。									
出品者数	単年	人	実績値	86	92	106	112		100										
			達成率	86.0%	92.0%	106.0%	112.0%	-											

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2～R6)

a	a～dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
---	--

5-2.5-1の理由

ブランドの確立や情報発信の見直し、新たな企画実施などに取り組むことで、出品者増加につながったため。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2～R6) 簡条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
 ・町内、町外での出店  
 ・出品者支援(商品規格や会計、ディスプレイ等の勉強会、作り手同士の交流促進など)  
 ・マルシェイベント開催  
 ・ふるさと財団地域再生マネージャー事業(R3～R5)実施  
 【成果】  
 ・ブランドコンセプトの明確化に伴い、ブランドの確立(さくら市場からかててへと名称変更、ロゴマーク、ディスプレイ、ユニホームなど)

7. 現状に対する課題

・今後の運用(自走化の検討)  
 ・スタッフの業務改善

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7～R11)

継続	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止: 事業を廃止すること。
----	---

8-2. 8-1の理由

引き続きブランドの確立を行いながら、来年度以降の運用について検討していく必要があるため。

タスクフォース記入欄

①KPI達成状況に係ること	出品者の傾向として若手が増えてきた。起業に繋がるケースもある。外国人の参加も一つのきっかけになるのではないかと。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	最終的には繋がるが、「かてて出品」⇒「起業」⇒「事業所化」のステップが必要。
③事業の今後は適切・妥当か	事業の自走化を目指す。かてて出品者の思いをくみとりつつ、町からの切りはなしのタイミングを図る。町も含めた支援者(サポーター)を増やす。
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
いつまでも暮らしたい、みんなが自慢したくなるまちをつくる		「将来も大刀洗町に住み続けたい」と思う割合							
基本的方向		種別	単位	R2	R3	R4	R5	R6	
④-1集う繋がるたちあらい「つながりたい」									
町民が集い繋がる仕組みを構築し、地域活動への参画を促すことで、町への愛着・誇りを醸成する。		単年	%	目標値	80	80	80	80	80
				実績値	80.7	71.1	-	77.7	

1. 具体的な施策名	所管課
同窓会推進事業	地域振興課

2. 事業の概要

町を離れた方に対して、町に帰ってくる機会を創出するため、町内で開催される町外在住者を含む同窓会開催に係る費用の一部を助成する。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
0	0	0	20	210	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
 ●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

歳出 補助金

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)	
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値		
同窓会開催件数	単年	件	実績値	0	0	0	1		12	コロナ禍の影響もあり目標には達していない。	
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	-			

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

C	a~dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
---	--

5-2. 5-1の理由

コロナが感染症5類に移行してからの開催件数を伸ばすための周知が十分ではなかった。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
 ・チラシの作成 (窓口で配布)  
 ・ホームページの作成

【成果】  
 ・リピーターの発掘

7. 現状に対する課題

周知ができていない。  
 開催が想定される店舗等へのポスター掲示が必要。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

継続	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止: 事業を廃止すること。
----	---

8-2. 8-1の理由

町への愛着の向上と町内飲食店の活性化のため。

タスクフォース記入欄

①KPI達成状況に係ること	開催時期が、盆正月に限られ、町外者3割参加でのハードルが高い使いにくい。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容の有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	きっかけづくりはできるが、新型コロナ明けのR5の件数から効果があるのかどうか不明
③事業の今後は適切・妥当か	継続で妥当だが、周知や補助要件の見直しが必要
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	

基本目標		基本目標KPI							
いつまでも暮らしたい、みんなが自慢しなくなるまちをつくる		「将来も大刀洗町に住み続けたい」と思う割合							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
④-1集う繋がるたちあらいつながりたじ									
町民が集い繋がる仕組みを構築し、地域活動への参画を促すことで、町への愛着・誇りを醸成する。		単年	%	目標値	80	80	80	80	80
				実績値	80.7	71.1	-	77.7	

1. 具体的な施策名	所管課
公共空間活性化事業	地域振興課

2. 事業の概要

校区センター等の公共施設を活用して体験型講座等を企画開催する方に対して、町が開催費用の一部を補助。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
60	0	125	147	210	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

歳出 補助金

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2～R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値	コロナ禍以降は順調に件数を伸ばしている。									
体験講座開催件数	単年	件	実績値	1	0	5	5		15										
			達成率	6.7%	0.0%	33.3%	33.3%	-											

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2～R6)

**b** a～dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において  
a: 非常に有効であった b: 有効であった。  
c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった

5-2. 5-1の理由

コロナ禍以降は利用者が増加してきており、校区センター利用者が増加しており、気軽に立ち寄れるみんなが集える施設へと定着してきている。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2～R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

**【取組概要】**  
・チラシの作成(窓口・校区センター配布)  
・ホームページの作成  
講座例)お子様のお悩み相談会・古着×キッチンカーイベント・BBQイベント  
**【成果】**  
・新規利用者につながった。

7. 現状に対する課題

日々の校区センター利用者が固定化されているため、更なる周知を行い、新規利用者の発掘を行う必要がある。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7～R11)

**継続** 「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。  
発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。  
継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。  
縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。  
廃止: 事業を廃止すること。

8-2. 8-1の理由

本事業を通して校区センターの活性化のため。

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	R6の実績に基づき、新規参入やリピート利用を分析する。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	地域づくりには有効で妥当
③事業の今後は適切・妥当か	継続が妥当
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI						
いつまでも暮らしたい、みんなが自慢したくなるまちをつくる		「将来も大刀洗町に住み続けたい」と思う割合						
基本的方向		種別	単位	R2	R3	R4	R5	R6
④-2健康長寿のたちあらい「いきいきしたい」								
いつまでも健康で充実した生活をおくれるように、健康増進施策を充実させ、健康寿命の延伸を図る。		単年	%	目標値	80	80	80	80
				実績値	80.7	71.1	-	77.7

1. 具体的な施策名	所管課
たちあらい型健康促進システムの構築	福祉課

2. 事業の概要

地域ぐるみの健康増進やイベント講座の実施等、健康づくりに関連する取組みを一体的に構築する。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
10,068	11,529	11,223	11,516	10,748	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

委託費(体操教室運営)、健康サポーター謝金

4-1. 個別事業KPIの達成状況				10067					4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)	
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値	
分館体操開催	累計	分館	実績値	24	24	23	24		25	ほぼ全域に分館体操教室ができ、自主運営を行っている分館もある
			達成率	96.0%	96.0%	92.0%	96.0%	-		

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

**b** a~dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において  
a: 非常に有効であった b: 有効であった。  
c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった

5-2.5-1の理由

分館体操の開催箇所が増え、地域参加の場所が増えた。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

**【取組概要】**  
・校区ごと、男性向け、分館ごとと様々な場で介護予防のための健康体操教室を行う。  
・体力測定をきっかけに健康意識の向上を目指す。  
・「健康サポーター」を育成し、地域ボランティアとして社会参加を促す。

**【成果】**  
・「歩いていける距離」を目的とした分館体操教室が24を超え、地域で健康運動を行う習慣ができた。  
・健康サポーターが自主的運営を行っている分館もある。

7. 現状に対する課題

・参加者が固定し、年齢層が上がっている。  
・新規参加者が少ない。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

**発展** 「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。  
発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。  
継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。  
縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。  
廃止: 事業を廃止すること。

8-2. 8-1の理由

委託事業者が変わり、認知症予防を兼ねた運動も取り入れ、新規参加者を増やす予定

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	すでに達成している。25行政区すべてに必要などうかは人口規模や地域の特性によるものため25行政区全てを目指す必要があるか疑問
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組み内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	適切
③事業の今後は適切・妥当か	事業継続は適切だが、KPIの見直しにきているのではないかと
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	2. 事業の概要がわかりにくい

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
いつまでも暮らしたい、みんなが自慢したくなるまちをつくる		「将来も大刀洗町に住み続けたい」と思う割合							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
④-2健康長寿のまちあらい「いきいきしたい」									
いつまでも健康で充実した生活をおくれるように、健康増進施策を充実させ、健康寿命の延伸を図る。		単年	%	目標値	80	80	80	80	80
				実績値	80.7	71.1	-	77.7	

1. 具体的な施策名	所管課
大刀洗町健康ポイント事業	健康課

2. 事業の概要

健康寿命の延伸を目指し、町民に対して健康づくりを広く呼びかけるとともに、日常的な運動や町や地域が開催する健康づくりに対する取組みへの参加に応じて健康ポイントを付与する。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主要施策報告に記載する金額を記入してください。</li> <li>●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。</li> </ul> <p>【歳入歳入の説明(簡潔に記入ください※金額不要) 例:需用費(印刷費)、旅費】 委託料(チラシ作成費)は、デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用。報酬費、共済費、報償費、需用費、役務費は、その他交付金等を活用。</p>
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
253	505	420	476	484	

4-1. 個別事業KPIの達成状況						4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2～R5の達成状況)			
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値
特定健康審査実施率	単年	%	実績値	46.3	45.8	46	42		60
			達成率	77.2%	76.3%	76.7%	70.0%	-	

健康受診率はR2より横ばいであったが、R5では低下しており目標値には到達していない。

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2～R6)

b	a～dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において a:非常に有効であった b:有効であった。 c:あまり有効ではなかった d:有効ではなかった
---	--

5-2.5-1の理由

健康受診率の低下は見られるが、健康ポイント事業の参加者は年々増加中であり、健康づくりを意識する方の増加が見られる。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2～R6) 簡潔書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
・R4より、病院健診期間を3月末までに変更。(～R3は2月末まで)  
・特定健診では、対象者に合った受診勧奨の実施や、混雑緩和・展示ルームなど健診会場の工夫を行って実施。  
・ウォーキングイベントや健康教室など、様々な健康イベントを実施。  
・ポイントカードを作成し、インセンティブ事業を展開することで日々の健康づくりを支援。

【成果】  
・特定健診受診率はR2より新型コロナウイルスの影響により受診率の減少、その後受診率を戻せていない状況である。  
・R5(男81.4歳 女87.6歳)の平均寿命はR2(男80.7歳 女87.3歳)に比べ延伸している。  
・健康ポイント事業の参加者(R5参加者数211人)や、健康イベントへの参加者は増加傾向である。また、実施後のアンケート調査によると、「健康を意識するようになった」と回答した方が約68%であり、健康づくりの意識づけが実施できている。

7. 現状に対する課題

さらなる平均寿命・健康寿命の延伸のため、特定健診受診率の向上を行う必要がある。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7～R11)

継続	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展:対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続:現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小:事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止:事業を廃止すること。
----	---

8-2. 8-1の理由

平均・健康寿命を延伸させるには、生活習慣病の早期発見・介入、健康づくりの支援を行う必要があるため、健診受診の動員や健康イベントの開催を継続して実施していく。

タスクフォース記入欄

①KPI達成状況に係ること	R5数値の低下の理由が不明
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組み内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	健康ポイント事業参加者は増加しているが、受診率は低下しており効果が見られないが、今後分析の見直しの検討が必要
③事業の後は適切・妥当か	継続が妥当
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	4-1KPIの達成状況の特定健康審査実施率と健康受診率の統一が必要

審議委員メモ欄

--

基本目標		基本目標KPI							
いつまでも暮らしたい、みんなが自慢したくなるまちをつくる		「将来も大刀洗町に住み続けたい」と思う割合							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
④-3安心・安全のまちあらい「守りたい」									
いつまでも安心、安全で快適な生活をおくれるように、防災・防犯力の向上や交通施策の充実を図る。		単年	%	目標値	80	80	80	80	80
				実績値	80.7	71.1	-	77.7	

1. 具体的な施策名	所管課
のりあい定額タクシー事業	企画財政課

2. 事業の概要

移動手段を充実させるため、タクシー事業者と連携し、利用者負担を定額とする乗合タクシーを運行する。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
-	-	2,343	3,817	6,196	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
 ●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

【歳入歳入の説明(簡潔に記入ください※金額不要) 例: 需用費(印刷費)、旅費】  
委託料

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2～R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値	事業開始当初と比して利用者数は順調に推移しているものの、目標値は達成できていない。									
乗車人数	単年	人/日	実績値	-	-	12	14		20										
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	60.0%	70.0%	-											

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2～R6)

<b>b</b>	a～dのうち1つを選択。 総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
----------	---

5-2.5-1の理由

ひばり号を導入によって、長年の課題である町内の広がる公共交通空白地をカバーできていることから、住み続けたいと思っていただけの要素のひとつになったのではないかと認識しているため。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2～R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
 R4.7月:ひばり号の運行開始。  
 R5.4月:日曜日の運行を開始及び予約受付時間の短縮(1時間前→30分前)を行う。  
 R6.3月:町内の買い物施設2か所に待合環境改善のためのベンチを設置。  
 【成果】  
 降車場所としては、病院や買い物施設が多く、身近な移動手段として利用いただいている。登録や利用者数は着実に伸びてきており、登録者の満足度も高い。R5実施の登録者アンケートにおいて「59%(252人中150人)の方が、ひばり号に対して満足、まあまあ満足と回答」

7. 現状に対する課題

サービス提供事業者であるタクシー事業者は一般の車両と並行してひばり号を運行しているため、予約がいっぱいのときは対応できない場合がある。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7～R11)

<b>継続</b>	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展:対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続:現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小:事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止:事業を廃止すること。
-----------	---

8-2. 8-1の理由

当面は大きな変更などは予定していないが、利用者ニーズや潜在的なニーズを把握しながら町民が気軽に移動できるサービスとなるよう必要性に応じてたいおうしていく。

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	順調に増加しており妥当
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	評価は妥当
③事業の今後は適切・妥当か	適切で妥当
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI						
いつまでも暮らしたい、みんなが自慢したくなるまちをつくる		「将来も大刀洗町に住み続けたい」と思う割合						
基本的方向		種別	単位	R2	R3	R4	R5	R6
④-3安心・安全のまちあらい「守りたい」								
いつまでも安心、安全で快適な生活をおくれるように、防災・防犯力の向上や交通施策の充実に努める。		単年	%	目標値	80	80	80	80
				実績値	80.7	71.1	-	77.7

1. 具体的な施策名	所管課
大刀洗パークアンドライド整備事業	企画財政課

2. 事業の概要

公共交通の利用促進と通勤通学の支援のため、公共交通機関を利用する方の駐車場等を整備する。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
0	0	0	0	0	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

【歳入歳入の説明(簡潔に記入ください※金額不要) 例:需用費(印刷費)、旅費】  
看板設置工事費等

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2～R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値										
整備箇所数	累計	箇所	実績値	3	4	4	4		5	①大塚駅、②西木刀洗駅、③高速大刀洗バス停、④今村天主堂バス停でパーク&ライドの事業を実施している。 ④については、事前手続きは不要で誰でも利用できるが、①③については事前登録が必要である。①については役場の駐車場を活用しており利用者は年々増加傾向にある。									
			達成率	60.0%	80.0%	80.0%	80.0%	-											

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2～R6)

<b>b</b>	a～dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
----------	--

5-2.5-1の理由

公共交通を利用する環境や送迎待機場を設けることで駅近隣の安全性の向上にもつながっているため。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2～R6) 簡条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
R2～R3年度にかけ、駐車場ではないが本郷駅待機場や大塚駅のキスアンドライドの整備を行った。  
【成果】  
広報紙やホームページを中心に広報を行い、役場駐車場を大塚駅パークアンドライド駐車場として無料で利用することができ、通勤通学での利用が増えている。

7. 現状に対する課題

役場駐車場のパークアンドライドは町外の方の利用も増えてきており、町内の方への周知・広報を十分に行っていく。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7～R11)

<b>継続</b>	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止: 事業を廃止すること。
-----------	---

8-2. 8-1の理由

公共交通を利用促進するために、継続するが、総合戦略への掲載は不要であるとする。

タスクフォース記入欄

①KPI達成状況に係ること	すでに達成しており妥当
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	妥当
③事業の今後は適切・妥当か	事業は継続で妥当だが、総合戦略に掲載する必要性は協議
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	

審議委員メモ欄

--

基本目標		基本目標KPI						
いつまでも暮らしたい、みんなが自慢したくなるまちをつくる		「将来も大刀洗町に住み続けたい」と思う割合						
基本的方向		種別	単位	R2	R3	R4	R5	R6
④-3安心・安全のまちあらい「守りたい」								
いつまでも安心、安全で快適な生活をおくれるように、防災・防犯力の向上や交通施策の充実を図る。		単年	%	目標値	80	80	80	80
				実績値	80.7	71.1	-	77.7

1. 具体的な施策名	所管課
防災士育成事業	総務課

2. 事業の概要

地域の防災力を強化するため、各校区において高い防災知識を有する防災士を育成する。

3. 事業費 単位:千円

R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額
33	100	66	21	558

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

防災士育成補助金

4-1. 個別事業KPIの達成状況

KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値
防災士の育成数	累計	人	実績値	2	11	17	19		40
			達成率	5.0%	27.5%	42.5%	47.5%	-	

4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2～R5の達成状況)

本補助事業について、各校区の自主防災組織へ周知し、推薦依頼等しているが、近年はなかなか集まらない状況。

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2～R6)

<b>b</b>	a～dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった。 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
----------	--

5-2.5-1の理由

町内で20名弱の防災士が誕生し、地域防災力の強化に寄与できた。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2～R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

**【取組概要】**  
地域の防災力を強化するため、各校区において高い防災知識を有する防災士を育成する。  
R5年度は、防災士のつどいを実施し、防災士同士の交流を図り、情報交換を行った。

**【成果】**  
毎年2名以上の防災士を育成し、各校区の自主防災組織と連携し、地域の防災力の強化につながっている。

7. 現状に対する課題

自主防災組織などの地域と防災士の連携ができていない地区もあり、それぞれをどうつなぐかが課題。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7～R11)

<b>継続</b>	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止: 事業を廃止すること。
-----------	---

8-2. 8-1の理由

引き続き防災士を育成し、各校区の自主防災組織と連携し、地域の防災力の強化を図るため。

タスクフォース記入欄

①KPI達成状況に係ること	コメントのとおりであり、目標値が高く再検討
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	意味のある事業だが、うまく活かせていない
③事業の今後は適切・妥当か	適切
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	

審議委員メモ欄

--

基本目標	基本目標KPI							
大刀洗町の魅力をみんなで共有し発信する。	たちあらい応援大使の人数・大刀洗町公式SNSのフォロー件数							
基本的方向	種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
⑤-1 魅力の発見「探したい」								
町の地域資源を掘り起こし、外部人材も活用しながら新たな町の魅力を発見する。	応援大使の人数 累計	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	552	580	694	810	
	フォロー件数 累計	件	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値	4,194	7,369	9,153	9,730	

1. 具体的な施策名	所管課
特産品掘り起こし事業	企画財政課

2. 事業の概要

ふるさと納税等の返礼品を増加させるため、町の魅力的な産品を掘り起こし。

3. 事業費 単位:千円				
R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額
595,019	483,483	559,028	599,169	256,166

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

歳入 寄附金

4-1. 個別事業KPIの達成状況									4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)	
KPI	種別	単位		R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	目標値	
ふるさと納税お礼品数	累計	品	実績値	225	257	683	1249		200	町内事業者と共にお礼品の開発を行い、目標を大きく上回っている。
			達成率	112.5%	128.5%	341.5%	624.5%	-		

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)	a	a~dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において a: 非常に有効であった b: 有効であった c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった
--	---	---

5-2.5-1の理由

枝豆や枝豆アイス・かてて手芸品・宝幸のスープ・農協のスイートコーンなど町の特産品が人気返礼品となり、町のPRにつながった。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。	<p>【取組概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セット品の開発 ex)おしかあ〜便(お野菜・お米セット)、ピエトロ便(お野菜・ドレッシングセット)エアウィーヴマットレス・枕セット</li> <li>・定期便の拡充 ex)お米の定期便、おしか〜便定期便</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄附の募集に寄与した。</li> </ul>
---	---

7. 現状に対する課題

食品加工場が町内にないため、出品できる返礼品に限られる。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)	継続	「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。 廃止: 事業を廃止すること。
-------------------------------------	----	---

8-2. 8-1の理由

継続して特産品を掘り起こすことで、町のPR及び寄附の向上に繋がるため。

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	構成比(県産品・町内産品)をみたり、どんな分野が増えているかの分析があった方がいい。寄附金増加の観点と地域資源の掘り起こしの観点という2つの方向性で見ていく上で必要ではないか。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組み内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	担当課の評価も妥当。寄附件数も多く魅力発信につながっている。
③事業の今後は適切・妥当か	適切だと考える。
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	

基本目標	基本目標KPI								
大刀洗町の魅力をみんなで共有し発信する。	たちあらい応援大使の人数・大刀洗町公式SNSのフォロー件数								
基本的方向	種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
⑤-1魅力の発見「探したい」									
町の地域資源を掘り起こし、外部人材も活用しながら新たな町の魅力を発信する。	応援大使の人数 累計	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
			実績値	552	580	694	810		
	フォロー件数 累計	件	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
			実績値	4,194	7,369	9,153	9,730		

1. 具体的な施策名	所管課
広報「たちあらい」つながるコーナー事業	地域振興課

2. 事業の概要

町で輝く人にスポットをあて広報紙で紹介し、町民同士の繋がりが、暮らし人々の魅力を発信する。

3. 事業費					単位:千円
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
0	0	0	0	0	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

【歳出入の説明(簡潔に記入ください※金額不要) 例: 需用費(印刷費)、旅費】

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5(2023)	R6 (2024)	目標値										
住民紹介 件数	単年	人	実績値	12	7	12	11		12	新型コロナウイルス感染症の影響で取材が困難な号もありましたが、基本的に毎月町の方を紹介できています。									
			達成率	100.0%	58.3%	100.0%	91.7%	-											

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

**b** a~dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において  
a: 非常に有効であった b: 有効であった。  
c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった

5-2.5-1の理由

感染症の影響で掲載できない年もありましたが、目標値に近い実績だったため。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 簡条書きなど簡潔に記載ください。

**【取組概要】**  
町で輝く人にスポットをあて広報紙で紹介し、町民同士の繋がりが、暮らし人々の魅力を発信した。

**【成果】**  
町で輝く人の活躍や魅力を広報紙を通じて紹介できた。また、これまで片面1ページのみでの紹介でしたが、より魅力が伝わるよう見開きのページに変更した。その結果もあり、取材した方が皆むお店への問い合わせ、町へ取材した人を紹介してほしいなどの依頼があった。

7. 現状に対する課題

現在は広報紙のみの発信となっているが、ホームページやSNSなどのツールを活用した発信の検討。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

**継続** 「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。  
発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。  
継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。  
縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。  
廃止: 事業を廃止すること。

8-2. 8-1の理由

継続して紹介することで、より親しみのある広報紙となることや町の魅力発信につながるため。

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	適切
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	適切
③事業の今後は適切・妥当か	適切。アーカイブ化やウェブ連動を考えてもらえればありがたい。
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	つながるコーナーは以前は町ホームページに掲載していたが、今は更新がとまっている。今後、移住定住サイトと連携できればいいと思う。大刀洗町に住む人の紹介など。

審議委員メモ欄

基本目標	基本目標KPI								
大刀洗町の魅力をみんなで共有し発信する。	たちあらい応援大使の人数・大刀洗町公式SNSのフォロワー件数								
基本的方向	種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
⑤-2魅力の向上「磨きたい」									
既存又は新たに発見した町の地域資源を磨き上げ、魅力を向上させる。	応援大使の人数 累計	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
			実績値	552	580	694	810		
	フォロワー件数 累計	件	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
			実績値	4,194	7,369	9,153	9,730		

1. 具体的な施策名	所管課
食・農ツーリズム事業 (FLAT)	地域振興課

2. 事業の概要

大型の観光施設ではなく、暮らしの中にある身近な素敵スポット(アナバ)を町民等が紹介する冊子を作成する。

3. 事業費	単位:千円					
	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
	決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
	0	84	0	183.4	669	

●主要施策報告に記載する金額を記入してください。  
●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。

需用費

4-1. 個別事業KPIの達成状況	4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値	
魅力スポット紹介件数	累計	件	実績値	14	68	71	80		80	新規採用職員や応援大使を中心におすすめスポットを募集し、着実に件数を増やしている。
			達成率	17.5%	85.0%	88.8%	100.0%	-		

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

**b** a~dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において  
a: 非常に有効であった b: 有効であった。  
c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった

5-2.5-1の理由

そこに住むひとの視点で書かれており、行政のパンフレットとは異なる効果的な発信となっているため。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

**【取組概要】**  
・大使や新規職員からスポットを募集し、掲載  
・パンフレットやSNS等で発信  
**【成果】**  
・メディア取材に取り上げられ、町の認知度向上につながった。  
・観光コースに組み込まれた。(特集記事)

7. 現状に対する課題

情報の更新や新規追加ができておらず、活用できていない。HTMLの操作となり、掲載にかなりの時間を費やす。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7~R11)

**継続** 「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。  
**発展:** 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。  
**継続:** 現行事業の内容のまま、継続すること。  
**縮小:** 事業規模や対象を縮小し、継続すること。  
**廃止:** 事業を廃止すること。

8-2. 8-1の理由

町内に新たなお店が増えており、紹介の場として活用できるため。また、掲載スポットを増やすことは、観光につながるため。

①KPI達成状況に係ること	掲載数は飛躍的に増えている。
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	適切
③事業の今後は適切・妥当か	適切。リニューアル後にルーティン化して着実に増やしていければ。
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	現在は件数がKPIとなっているが、サイト分析(アクセス数・流入経路)も必要なのかも。いいサイトなのでいろんな人に見てほしい

審議委員メモ欄

基本目標	基本目標KPI							
大刀洗町の魅力をみんなで共有し発信する。	たちあらい応援大使の人数・大刀洗町公式SNSのフォロワー件数							
基本的方向	種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
⑤-3魅力の発信「届けたい」								
情報の共有と発信力を強化し、町の魅力を庁内外へ届ける	応援大使の人数 累計	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	552	580	694	810	
	フォロワー件数 累計	件	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値	4,194	7,369	9,153	9,730	

1. 具体的な施策名	所管課
たちあらい応援大使事業	地域振興課

2. 事業の概要

町に縁や愛着を持つ人を町公認の大使に任命し、各人が出来る広報活動を通して、町の魅力やイベント情報の発信を行う。

3. 事業費					単位:千円	●主要施策報告に記載する金額を記入してください。 ●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額		
100	89	210	260	336		
需用費、役務費						

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2~R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値										
大使任命件数	累計	人	実績値	552	580	694	813		1000	えだまめ収穫祭時のPRブース設置や、来町者や関係した方へ紹介、また応援店舗での申込POPを設置するなど、継続的にPRすることで着実に大使数が増加している。									
			達成率	55.2%	58.0%	69.4%	81.3%	-											

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2~R6)

**b** a~dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において  
 a: 非常に有効であった b: 有効であった。  
 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった

5-2.5-1の理由

コロナの影響で人数が少ない年もあるが、毎年100人以上のペースで増加しているため。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2~R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

**【取組概要】**  
 ・イベント等での周知  
 ・R4から暑中見舞い発送  
 ・オンラインでの受付可能  
 ・施策間の連携(えだまめ収穫祭など)  
**【成果】**  
 ・日本国内だけではなく、世界中で大使が活動。  
 ・他自治体からのお問合せもあり、口コミ等で注目されている。

7. 現状に対する課題

まちからの発信のみで一方通行となっており、大使同士の交流が少ない。

**継続** 「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。  
 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。  
 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。  
 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。  
 廃止: 事業を廃止すること。

8-2. 8-1の理由

引き続き大使募集を行うとともに、大使同士が交流できるイベントを模索する必要があるため。

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	適切
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	適切
③事業の今後は適切・妥当か	妥当ではあるが、現行にプラスして踏み込んだ取り組みができるとなおよいと考える。関係人口の入り口としては機能しているが、そのあとの取り組みや仕組みが必要。
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	

審議委員メモ欄

基本目標		基本目標KPI							
大刀洗町の魅力をみんなで共有し発信する。		たちあらい応援大使の人数・大刀洗町公式SNSのフォロワー件数							
基本的方向		種別	単位		R2	R3	R4	R5	R6
⑤-3魅力の発信「届けたい」									
情報の共有と発信力を強化し、町の魅力を庁内外へ届ける	応援大使の人数 累計	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		実績値	552	580	694	810			
	フォロワー件数 累計	件	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
		実績値	4,194	7,369	9,153	9,730			

1. 具体的な施策名	所管課
たちあらい応援大使店舗事業	地域振興課

2. 事業の概要

町外に「たちあらい応援大使店舗」を募り、加盟店舗に大刀洗の食材のPRの一端を担ってもらうことにより地域ブランド力の向上を図る。

3. 事業費 単位:千円					●主要施策報告に記載する金額を記入してください。 ●デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)旧地方創生推進交付金を活用している事業は、当該事業費と突合するように記入してください。
R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	
決算額	決算額	決算額	決算額	予算額	
0	0	610	1,190	1,500	
需用費、役員費					

4-1. 個別事業KPIの達成状況										4-2. 個別事業KPIの達成状況に関するコメント(R2～R5の達成状況)									
KPI	種別	単位		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	目標値	行政だけではなく、町外の飲食店でも町のPR活動が実施されている。									
応援大使店舗の件数	累計	件数	実績値	-	-	6	17		10										
			達成率	#####	#####	60.0%	170.0%	-											

5-1. 第2期プロジェクトにおける基本目標KPIの達成に係る本事業の評価(R2～R6)

a a～dのうち1つを選択。総合戦略の基本目標KPIの達成において  
 a: 非常に有効であった b: 有効であった。  
 c: あまり有効ではなかった d: 有効ではなかった

5-2.5-1の理由

目標値を目指し、新規応援店舗を検討したため。

6. 第2期プロジェクトにおける取組概要と成果(R2～R6) 箇条書きなど簡潔に記載ください。

【取組概要】  
 ・応援店舗案内、申請  
 ・任命証贈呈  
 ・提示用POPやノベルティの制作  
 ・旬の野菜を提供し、各店舗で大刀洗フェアの開催  
 【成果】  
 ・継続的に町のPRが実施されている。  
 ・メニュー開発 例: 大刀洗野菜のバーニャカウダー(香港)

7. 現状に対する課題

応援店舗数を増やすことばかりに集中せず、各店舗との関係構築を柔軟にし、取り組み内容を強化する。

8-1. 第2期プロジェクトの実施を踏まえた事業の今後(R7～R11)

継続 「継続」「発展」「改善」「廃止」の中から1つを選択。  
 発展: 対象者の拡大や補助内容の拡充などを行い継続すること。  
 継続: 現行事業の内容のまま、継続すること。  
 縮小: 事業規模や対象を縮小し、継続すること。  
 廃止: 事業を廃止すること。

8-2. 8-1の理由

町外でも町の農産品等の特産品を活用して持続的にPRを行うことは、タウンプロモーションに効果的であるため。

タスクフォース記入欄	
①KPI達成状況に係ること	目標値を大きく上回っている
②基本目標KPI達成のために事業の内容や取組内容は有効であったか。担当課の評価は適切・妥当か	KPIは目標値を大きく上回っているが応援店舗が大刀洗町を応援する具体的な内容が読み取れないため評価しづらい。
③事業の後は適切・妥当か	課題は正しくとらえられていると思う。事業自体やどこが応援店舗なのかの情報発信が必要ではないか。町民の人がその店舗を訪ねたりすることにつながるのでは。
その他のコメント(KPI設定や第3期策定時に必要な視点)	ただ件数を追うKPIではなくて取り組み内容の充実のためのKPIの設定を考えてもいいかもしれない。需用費は具体的に何に使われているのか。店舗×大使の取り組みなどできるといいと思う。応援大使もそうだが、今年度リニューアルをする町ホームページにコーナーを設けてハッシュタグをつけた「#たちあらい応援大使」「#たちあらい応援店舗」があがってくるようにしては。

審議委員メモ欄